

第1回対応精査タスクフォース 議事概要

- 1 日 時 令和3年12月26日（日）13:00～15:00
- 2 場 所 Web会議
- 3 出席者
 - 【委 員】
椿 広計（座長）、川崎 茂、清原 慶子
 - 【臨時委員】
清水 千弘
 - 【事務局（総務省）】
明渡大臣官房審議官（途中退席）
統計委員会担当室：中澤調査官、錦織主査
- 4 議 事
精査の進め方について
- 5 議事概要
 - 精査を進めるに当たっての基本的な考え方について議論が行われ、以下の点を確認した。
 - ・ タスクフォースは、建設工事受注動態統計調査に係る問題について、統計技術面を含めた公的統計の改善を進め、国民の信頼を回復するために、統計制度を所管する総務省政策統括官室の本件に関する対応についての機動的、効率的かつ短期集中的な検証を行うことをミッションとすること
 - ・ 精査は、この問題が生じた要因を客観的に明らかにするとともに、適切な統計作成プロセスの実現を通じ、公的統計の改善につなげるために行われるべきものであること
 - ・ タスクフォースの調査事務を担当する事務局職員は、総務省行政評価局からの職員だけから構成すると共に、タスクフォースメンバーは従来自身が関与した評価分科会等に関わる対象者のヒアリングには原則として対応しないことで中立性を担保すること
 - ・ 議事概要については、出席した構成員全てが確認した後に、公表すること、併せて、ヒアリング等の調査を進めることが優先されること
 - 精査の進め方について議論し、関係文書の調査、職員への書面調査及びヒアリングを行うこととし、その具体的な方法等を確認した。

また、精査においては、建設工事受注動態調査において回収率低下を考慮した推計の導入に係る時期以降を対象とするとともに、国土交通省とのやり取りが頻繁に行われた時期を重点的に精査することを確認した。

以上

<文責 総務省統計委員会担当室 速報のため事後修正の可能性あり>